

なかしゅんべつ

2010
2
No.385



INDEX

みらい塾修了式・入講式 2～5	フレッシュミセス…………… 10
青年部全道大会……………6	奥山明範さん、希望さん結婚 11
北海道青年農業者会議……………7	営農対策情報…………… 12
女性部のページ…………… 8～9	理事会…………… 13

将来の経営主を目指して学ぶみらい塾
修了式・入講式が執り行われました

将来の経営主としての 新たな一歩を踏み出す

新春を迎えた1月15日、平成21年度みらい塾修了式と平成22年度みらい塾入講式が農業者団地センターで行われました。

みらい塾は担い手後継者を対象とし、第1期は5人
の塾生により、1年間にわたり18回の講座を開催し、農協組織、酪農技術、経営技術について学習してきました。特に、関係機関との人づくりを目的とし、根釧農業試験場、根室農業改良普及センター、ジェネティクス北海道東事業所、北海道酪農検定検査協会の方に講師を依頼し、現地での研修や視察を行いました。

この日は、冬の澄んだ晴天の下、来賓、農協理事がご

臨席の中、1年間の講義を終え将来の経営主として新たな一歩を踏み出した第1期修了生5人が、竹田國男塾長より修了証書を受け取りました。塾長より「関係機関と地域の連携によりみらい塾を運営していくことが出来ました。5人の塾生はこれからこの繋がりを生かして益々の活躍を期待しています」と挨拶をいただき、続いて根室農業改良普及センター金光所長より「みらい塾で学んだ知識への感謝の意を、これから自分の農場へ還元してください」とお

祝いの言葉ををいただくのと、5人の塾生は今までの受講内容を振り返りながら真剣に耳を傾けていました。修了生を代表して美原地区の山田晃嗣さんから「みらい塾で学んだ基礎を、これから仕事をやっていく上で応用していきたい。また、関係機関とのつながりが出来たことが非常に

に良かったです」と力強い言葉で挨拶がありました。



平成21年度
第1期みらい塾修了式

みらい塾 第1期生紹介



山田 晃嗣さん



長沼 徹さん



岩瀬 恒介さん



藤倉香津靖さん



相澤 孝太さん

みらい塾入講式

みらい塾 第2期生紹介



ひらい ゆういち
平井 優一さん(24歳)
平井房夫組合員後継者



くぼ みつひろ
久保 光大さん(23歳)
久保義則組合員後継者



ふじわら
藤原ちさとさん(22歳)
藤原義輝組合員後継者



さいとう たつや
斎藤 達也さん(23歳)
斎藤 洋組合員後継者



てらしま けいこ
寺澤 佳吾さん(24歳)
寺澤 信組合員後継者



あらい たかし
荒 貴志さん(21歳)
荒 青史組合員後継者

【豊原地区】

【美原地区】



続いて、平成22年度みらい塾入講式が行われ、新たに第2期生として学ぶことになる6人が会場内で紹介され、第1期生とは違う緊張した面持ちながら大きな声で返事をしていました。塾長の式辞と根釧農業試験場・扇勉場長の激励の言葉をいただき、第2期生を代表し中春別地区の寺澤佳吾さんより「これから1年間、みらい塾受講生として勉強の場を与えていただきありがとうございます。関係機関、役員の方には大変お世話になると思いますが、宜しくお願い致します」と、これからの地域担い手としてみらい塾で学習する決意を



宣言しました。第2期生は昼食後、団地センター研修室にてオリエンテーションを行い、営農生産部長より、受講に当たつての

心構えとこれからのスケジュールについての話がありました。第2期のみらい塾は、まずは、農協組織の業務内容について職員が講師となり講義を行い、今後は塾生の知りたいことに柔軟に対応していくため、アンケートをとり今後の受講内容に反映させていきたいと考えております。

みらい塾第2期生 初回講座開催

みらい塾第2期生の初回講座が1月21日、団地センタートレーニング室で開催されました。

はじめに、丹羽専務より「酪農の担い手である皆さんが、みらい塾に入講し酪農に関する基礎知識の向上やJA職員及び関係機関とこれからの学習を通じて交流を深

め自主性、創造性、実践力のある農業者となる事を多いに期待したい」と激励の挨拶の後、早速講座に入りました。

総務部、購買部、営農生産部の各部長から農協業務の概要についての説明があり、受講生は、「具体的にどのような事をやっているの？」ま



受講生の修了レポートを紹介します

た、「サポート協議会の人数は？」「融資の限度はどうやって決まるのか？」など積極的に質問が出され、理解を深めていました。

今後の講座については、時期に応じた内容で現地研修や視察などを取り入れ、より実践的な技術と知識の習得に向けて進めていく予定です。

です。来年1月の修了式に向け、受講生の成長していきたい姿を報告していきたいと思えます。

に1年の締めくくりに視察があるので楽しんでいきたいと思えます。
1年間サポートしてくれた皆さんありがとうございました。

この度、晴れて平成21年度みらい塾を修了した受講生の修了レポートを掲載します。
(残り2人につきましては来月号にて掲載します)

一年を振り返って



山田 晃嗣

てもらい、それから自分たちの興味のある事についての講習や実際に現地に行ったりしました。

この前は中標津の農業試験場行き、牛についての実際はもろん牧草や環境についてなどの研究をしていると建物の案内をしてもらいながら説明を受けました。何力所かは実験中という事で見学できなかったのが残念でしたが良い経験になりました。

僕がこのみらい塾に行くことになったきっかけは館内さんからの電話でした。実践的な牛についての勉強は少しですが、国内と海外での実習経験と日々の経験で覚えてきましたが、理論的な事や経営の事などはよくわかっていなかったため、勉強してみたいと思いついて参加してみました。

始めは農協のシステムについて各部署の人に説明し

草時期は一時中断しましたが、知っているつもりで知

らなかつた事、まったく知らなかつた事をやさしくわかりやすく講師の方に教えていただき、ちよつと阿呆な僕でも理解できたし、初めは固かつたメンバーの空気も会を重ねる度に打ち解けていきリラックスして話を聞けました。講習を受ける事も面白かつたのですが、このメンバーでやれたのが僕は面白かつたのかも知れませんが。

私が実家に帰ってきて5年がたち、振り返ってみるとただ毎日漠然としていたのが事実でした。これまでの日々は父に頼つてばかりで、自分から積極的に発言したりすることもなくやってきた毎日でした。これからは自分からやつていかなければならないとは思つていましたが、何をどうすればいいのか、やつていくうえで何を誰に話していけばいいのか全然わからないままに過ごしていた時、みらい塾がある



藤倉香津靖

学んだことをいかし酪農家として頑張る

と聞き、この機会にとやってみることにしました。
みらい塾では、5人の生徒と共に自分たちで勉強内容を決めやってきました。初めの勉強内容は、農協の仕組みなどでした。本当に細かいことから始まり組合員の状況などからやってきました。酪農戸数も年々減少していて、農協は減少歯止めにも最善の努力をしているのが事実ということなどといった実態を知ることから始まりました。

乳牛頭数、地区面積、運営組織、販売事業、乳検事業、購買事業、金融、共済事業、ヘルパー事業、育成牧場といった、事業内容を一つひとつ勉強していき、農協の各部署がどのような内容で運営しているのかというところを覚えていきました。

それから、酪農をしていく上に大事な勉強をしていきました。内容は、放牧のポイントやスラリー散布、サイレージ調整、刈り取り時期、牛舎設計のポイント、牛のボディーコンディション、飼料調整、乾乳管理などといった内容で、研修などを



相澤 孝太

僕はみらい塾で学んだこ

経営改善を試みたい

しながら今まで学校などで勉強してきた内容の応用のような形でやってきました。この1年を通して何より、この5人でやってきて本当にこれからの仲間として、真剣に話し合うことができ、すぐに取り入れられる事は自分から進んでやってみたりしながら、みんなが集まったときに成果など話題が絶えない時間を過ごすことが出来ました。そして、たくさん関係機関の講師などを迎えることで、人脈も増やすことができこれからやっていく上での自信などを持つことができました。

これからは、決して無駄ではなかったみらい塾を生かして、酪農家として頑張つていこうと思います。

とによつて、我が家の経営で改善すべきところが、いろいろわかつてきました。そこで我が家の経営の中で、特に改善しようと思つているところは、繁殖管理と乾乳管理です。

我が家の分娩間隔は、460日で明らかに長いことがわかる。その原因として、牛を舎飼にしていることによつて、単純に発情行動を見逃してしまうことや、発情があつたとしても牛が運動不足のため発情行動が微弱であることがわかつたこと、こういった繁殖管理を怠ることで分娩間隔の遅れが出てしまつたと考えています。

現在、牛の繁殖管理では単純な見逃しや発情行動が微弱で、なかなか発情を見できない場合が多いことから、改善として現在、妊娠鑑定を行い分娩間隔の改善に取り組んでいます。

我が家では、120頭を管理しなければならぬため、飼養管理が増えれば増えるほど目が届かず、発情を見落とす機会が多くなる可能性もあります。1回見落とすと1周期(約21日)遅

れてしまいます。

そこでこれからの改善として考えていることは、発情発見のために繁殖カレンダーを使用することによつて、どの牛が発情なのか、分娩は近いかなどの情報が知ることできるので取り入れていきたいと考えています。

できるだけ牛の観察時間を増やして、発情発見に取り組んでいきたいと思つています。

我が家の乾乳管理は、ほとんどの乾乳牛は舎飼になつているため、分娩後のトラブルが多くなつてしまつています。

その分娩後のトラブルの症状として、低カルシウム血症や急性乳房炎がとて多くなつてしまつています。そのことで経済的な損失が多くなり、乳量の低下や繁殖成績の悪化、分娩間隔の延長により、年間分娩頭数減少による販売収入の減少になつてしまつています。

その改善として、我が家にある育成牛舎を利用して、乾乳牛を前期、後期に分け2群管理を行いたいと思つています。

乾乳期の飼養管理は、前

期に嗜好性の高い粗飼料、乳配を1〜2kg、タンカルを50〜100g給与する。後期には、イネ科の1番草、乾乳用配合を4〜5kgを給与する。後期では、カルシウムを多く含む飼料を給与しない。このような飼養管理をしていきたいと考えています。

このようにきちんとした乾乳管理によつて、分娩後のトラブルを減少させることができます。そして、疾病の減少により、個体乳量の増加や乳飼比の低下、生乳生産コスト低減、乳質の向上、管理時間の減少により所得の増加や労働時間の減少につながります。

このようなことから、これから我が家でも乾乳牛の2群管理を取り入れていきたいと考えています。

みらい塾では、多くのことを学びました。みらい塾に入った頃はどんな勉強をするのか不安でしたが、授業が始まればとても分かりやすく、楽しく勉強ができました。

授業の中で、1番難しいなと思つたのは、営農計画

書の作成や農業税務と農業簿記です。営農計画書を実際にやりましたが、作成するのはとても大変でした。この2つはもつと勉強する必要がありますがあつたなと感じました。

みらい塾では、農家や施設の視察などもあつたので、簡易的な乾乳牛舎など、今後に生かせるような施設を見せられましたので、とても勉強になりました。僕の中で1番勉強になつたなと思つた勉強内容は、繁殖や乾乳牛についてでした。乾乳牛にしても2群管理のことを全く知らなかつたので、これからの経営に取り入れることで牛の環境も乳量も変わってくるなと感じました。他にも土壌のことや草地の施肥、飼料設計などを学んできました。

この勉強したすべてのことを生かすことができるように、これからも努力を続け頑張つていきたいと思つています。

大会初日、道内各地区より集った盟友により会場は埋めつくされ盛大に執り行われました。

会場では各地区の青年部の取り組みについての発表がなされ、自身が生産する農産物の消費拡大運動の様子や、丹精込めて生産した野菜のブランド化への取り組み、いかに付加価値を付け販売するか、海外研修を通して学んだ事などが発表され青年部活動において今後、参考となるものばかりで皆さん真剣に聞き取っておりました。

また、会場内では活動内容を紹介する壁新聞も掲示されており、どれをとっても参考になるものばかりでした。

分科会では、計6テーマに別れ実施されました。当農協青年部は、「牛乳・乳製品の需給情勢と畜産情勢」と題された分科会に参加し、中央会・ホクレン担当者より現在の情勢、今後の見通しについて説明を受け活発な意見交換がなされました。各部会ともに充実した内容となった事でしょう。

第58回 全道JA青年部大会開催

道内各地より多くの盟友が集う

第58回 全道JA青年部大会が札幌市・パークホテルにて12月3日、4日の日程で開催されました。当青年部からは3人の部員が参加し、全道各地区の盟友と懇親と親睦を深めました。



分科会終了後には、全体懇親会も実施され懇親会の中で、アームレスリング大会が行われ各地区から腕自慢が集い、白熱した試合が展開され会場は一気にヒートアップ。自身の地区から出場している選手へ熱い声援を送っております。



新年を仲間たちと祝う 青年部新年会

中春別農協青年部(石森裕治部長)では北平系会館にて1月18日(月)、新年会を開催いたしました。

当日は農協、酪対より多くの来賓の方々が出席されるなか開催されました。

新しい年を迎えてから初めての顔合わせをする部員達も多く、食事と飲み物が並んだテーブルを囲ん

で話しも箸も進み大いに盛り上がり賑やかでした。

青年部の仲間と2010年を祝うと共に、それぞれに抱負、目標をたてられたことと思います。部員の皆さんの更なるご活躍を期待しております。



調査活動、勉強会などの 努力が評価され優秀賞を獲得

4Hクラブ
畜産経営
部門

平成21年度

北海道青年

主催 北海道4Hクラブ
(財)北海道農業開発センター
(し手育成センター)



平成21年度 北海道青年 農業者会議へ 参加して

私達、別海町4Hクラブ連絡協議会は去る1月14日、15日に札幌の北海道大学にて行われました平成21年度北海道青年農業者会議に参加しました。

今回の大会には、各管内の4Hクラブ及び酪農・農業の青年団体、関係者を含め約300人が出席し、根室管内からは各単協クラブ員が、1年間の活動の成果を発表する「プロジェクト発表」へ3課題、さまざまな経験を通して得た酪農に対する想いを発表する「アグリメッセージ」へ1課題出場しました。

プロジェクト発表では、「畜産経営部門」「畜産経営部門」「地域活動部門」の3部門に分けられ、その中で私達はプロジェクト「畜産経営部門」において「自給飼料の見直しは草地管理から」石炭散布はいらぬお節介(石炭)と題し、自分達の牧草地の土壌を調査し、草地維持を目的とする石灰の試験散布を行い、その有効性を確認した今年の活動を発表し、同部門で優秀賞をいただきました。畜産経営部門は課題数が11



件あり、それぞれ繁殖や哺乳期の子牛の育成、良質な粗飼料収穫や粗飼料のロスや経営コストを軽減するという内容で、どの団体もレベルの高い発表の中で、私達の1年間の調査活動や勉強会、発表に向けて時には深夜まで続いた資料作りなど、

今まで積み重ねてきた努力が評価されたのだと実感しました。

別海吾久里塾やアグリメッセージの発表を翌日に控えた別海高校農業特別専攻科の方々と、今大会の発表の中で興味深かった活動や今後の4Hクラブ活動や酪農への熱い想いを語り合い親睦を深めることができ、また本音で語り合うことでお互いの活動の良い刺激となつたと感じました。

現在、4Hクラブや農業者会議への参加人数は、年々減少しているのが現状です。今回の会議で得た知識、新たな仲間たちとの出会いを4Hクラブの新たなエネルギーとし、より活発な活動をしていきたいと思えます。



新たな年のスタートを祝う

中春別農協女性部では、新たな年を迎え最初の行事となる新年交流会を1月12日(火)開催致しました。



女性部
新年交流会
を開催

今年は別海町レストラン
ポルシェにて部員18人が参
加し、新年の挨拶を交わし
ました。

開催に先立ち農協組合長
より挨拶をいただいた後、
中春別酪農対策協議会・望
月会長の乾杯の音頭により
始まりました新年交流会。
テーブルの上にずらり用意
された温かい料理をいただき
ながら話も弾み、皆さん
終始笑顔の中、賑やかな雰
囲気で進行しました。

恒例となりましたゲーム
大会は、カボチャを使った



料理でレシピにそって用意
された材料の総重量当てゲ
ームが行われ見事、重量を
的中できた方には、食材が
賞品となる事から皆さん真
剣な表情で予想。また、勝ち
抜き戦の「新聞切りゲーム」
は限られた時間の中で、新
聞紙をいかに長く切れるか
を競いました。

毎年恒例となりましたピ
ンゴ大会も行われ、会場は
大いに盛りあがりました。
ゲーム終了後のオークシ
ョンではたくさん品の品物が



出品・落札され、皆さん少々
遠慮がちでしたが、欲しい
品を持ち帰ることはでき
てでしょうか？
部員同士の話がつきない
中、久保副部長による挨拶、
万歳三唱により賑やかに新
年を祝った交流会は、お開
きとなりました。今年も、今
一度初心に立ち戻り心をひ
とつにして一年頑張りまし
よう!!

Aコープ利用者懇談会

人々のコミュニケーションの場に

Aコープ利用者懇談会が12月11日(金)に開催され、女性部から16人が参加しました。

この懇談会は、利用されている組合員さんからのご意見、ご要望を伺ってサービスの向上に役立てていることと、組合員さん同士の情報交換の場として毎年開催しています。

Aコープの商品事業の取り組みや実績報告の後、対話方式で懇談



が行われ、商品の管理や宅配、特売、目玉商品のPRなど利用者側からの意見が出されました。

「店舗は地元の人達とのコミュニケーションの場になっている」「宅配の利用でついでと思えば青果物を頼むと鮮度のいいものが配達される」などといった情報もあり、利用する方の理解と協力で店舗がより利用しやすくなると思います。参加されたみなさん、お疲れさまでした。

中標津町フラワールームえみ様より渡辺正樹氏を講師に招き、フラワーアレンジメント講習会を12月11日(金)開催、部員16人が参加しました。



毎年行われていますフラワーアレンジメント講習会です

が、今回の作品は赤とピンクと白い花を使ったリース。松ぼっくりをつけたり、リングをつけたり花の置き方でかわいい感じになったり綺麗な感じになったりと、皆さん悪戦苦闘しながらリースが出来あがりました。とても存在感のあるリースで、家に持ち帰って

茶の間を華やかにしてくれたと思います。

最後に講師の渡辺さんが、材料の余った花を使ってブーケを作ってくれました。部員の視線を釘付けにし、出来あがったブーケはいかがなものでしょう。「大会では茎の先まで評価されるんです」と先生のテクニックも見せていただきました。



こんな素敵なりー스가できました

1年の疲れを仲間とともに癒す

フレッシュミセス部会では、養老牛温泉「湯宿だいいち」にてクリスマス会&忘年会を12月17日(木)に行いました。

参加されました部会員は11人。農協から送迎バスに乗り、久しぶりに会った仲間とバスの中を賑やかに過

ごし「だいいち」へ向かいました。到着後、食事の前にビンゴ大会を開催。子供連れの



方はお子さんと一緒にビンゴを楽しみ、お目当ての商品を手にしました。美味しい食事をとりお腹一杯になったところで温泉に行く部員。わいわいしながら

温泉につかり、満足顔で帰ってきました。短い時間でしたが、仲間との有意義な時間になったと思います。2009年の疲れを吹き飛ばしたところで、2010年も母ちゃんパワーで頑張ります！

根室管内JA合同

年末貯金キャンペーン抽選会

「特賞・旅行券は誰の手に？」



11月2日～12月30日で実施しました、根室管内5JA合同年末貯金キャンペーン懸賞品の抽選会を1月7日に行いました。

今回の懸賞品は、特賞の旅行券から5等までの管内JA特産物で、総当選本数350本のうち当JAは36本となりました。当選された皆様おめでとうございます!(当選番号は貯金窓口に掲示しております。)

懸賞品については、1月中旬から順次、各JAより直送されます。

なお、キャンペーン期間中の当JA実績は、定期貯金・定期積金合計で4億4千万円となりました。ご協力大変ありがとうございました。今後とも「JAバンク」を宜しくお願いします。

ご結婚 おめでとうございます



豊原地区 奥山 明範さん・希望さん

中標津町出身、日下部(旧姓)明範さんと豊原地区・奥山希望さんがご結婚され新たな生活をスタートされました。



お2人は共通のご友人の紹介で知り合い出会いました。最初は友人としておつき合いらしい親交を深めた後、交際がスタート。

初めて会った時のお互いの印象について伺うと希望さん「お2人は「同じ年なのに落ち着きがあり物静かな人」と好印象を受けたそうで、明範さんは、「賑やかな子」という感じを受けたようです。

いつも笑顔が絶えない賑やかな家庭を二人で築いていきたい

さんは「同じ年なのに落ち着きがあり物静かな人」と好印象を受けたそうで、明範さんは、「賑やかな子」という感じを受けたようです。

希望さんの高校時代の友人グループに新たに加わった明範さん。そのうち自然とお互いを意識するようになり、交際がスタートしたそうです。希望さんは、「今までの友人の中にいないタイプだった」と明範さんについて話してくれました。

地区内で酪農スタッフとして働いていた明範さんは、もともと酪農という仕事に興味があり、希望さんとの交際が進んでいく中で、互いに結婚について何度も考え話し合いながら結婚を決めていったそうです。

新たな生活をスタートさせたお2人にこれからの抱負は?とお聞きしたところ「賑やかで家族みんなが笑顔の絶えない家庭をつくりたい」と希望さん。明範さんは、「早く酪農の仕事を覚え、安心して任せてもらえるようになりたい」と話してくれました。

どうぞ末長くお幸せに。

第10回 理事会のうごき



平成21年12月29日(火)

議案

1. 共済規程の一部変更について
変更内容 平成22年4月1日の保険法施行に伴い共済規程の一部を変更する。
実施時期 平成22年4月1日
2. クミカン取引名義の変更について
平成21営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について

報告事項

1. 組合員加入について
 2. 組合員の脱退予告について
 3. 平成22年度新規採用職員(大学卒)の内定について
 4. 配合飼料情勢について
 5. 平成21年度11月末営農生産関連実績について
 6. 共和育成牧場預託牛の事故に対する互助会規程による見舞金の支払について
- 以下、原案通り承認
4. 平成21営農年度クミカン精算に係る資金の貸付について
 5. 平成22営農年度クミカン取引計画に係る貸越極度額及び供給限度額の認定について
 6. 平成22営農年度機械利用組合クミカン取引計画に係る貸越極度額及び供給限度額の認定について

3月は納税推進強化月間です

根室支庁では、3月を「納税推進強化月間」として、財産の差押さえなどの滞納処分に積極的に取り組みます。

税金は、住み良い地域社会をつくるための貴重な財源です。みなさんの暮らしを支える道税の納税にご協力下さい。

【3月の夜間納税相談窓口】 ●日時 3月19日(金)午後8時まで ●場所 根室支庁税務課

(問い合わせ先)納税に関するご相談は、

根室支庁地域振興部税務課納税係 電話(0153)24-5466番(納税係直通)

12月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

		単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差	
乳脂肪分		756.070		30.95	29.79	1.16	
無脂乳固形分		477.543		41.96	40.30	1.66	
補給金		4.6109		4.61	4.78	-0.17	
計画チーズ奨励金							
乳質単価	生菌数	ランク1	2	308,696,356.0kg	3.76	3.75	0.01
		ランク2	0	7,043,181.8kg			
		ランク3	-3	209,339.7kg			
	体細胞数	ランク1	2	278,395,633.3kg			
		ランク2	1	20,868,685.7kg			
	乳質向上特別対策	ランク1	-2	2,666,496.0kg			
合計				81.28	78.62	2.66	

12月分乳代支払単価

項目	単価(円)/kg ⁰	
乳脂肪分①	30円95銭	
無脂乳固形分②	41円96銭	
補給金③	4円61銭	
チーズ奨励金④		
脂肪率	全道	4.09%
	農協	4.15%
無脂固形分率	全道	8.79%
	農協	8.78%
成分乳価	全道	77円52銭
①+②+③+④=⑤	農協	77円94銭
乳質乳価⑥	全道	3円76銭
	農協	3円83銭
乳代合計	全道	81円28銭
	農協	81円83銭
⑤+⑥	差異	55銭

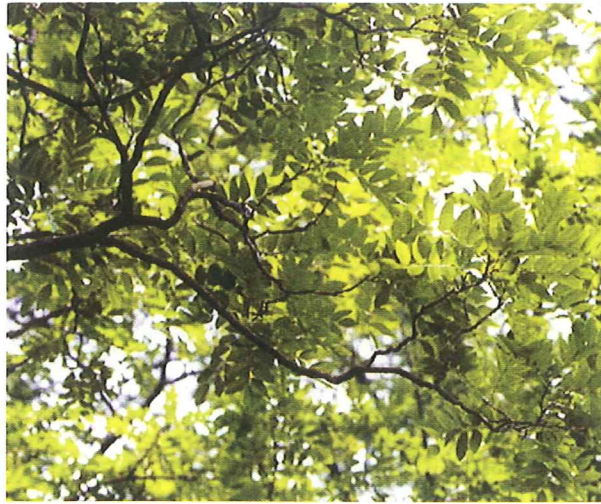
編集後記

▼新たな年を迎えご家族そろって穏やかな時間を過ごされたのではないのでしょうか。しかしながら新年早々に大雪に見舞われ、除雪作業に追われたことと思います。例年の今時期と比較しても昨年の暮れから今年にかけて降雪量が多く、全国的にも今年は雪が多いのではないのでしょうか。また、道東地方はこれからの降雪が多くなる時期ですので、これからの除雪作業の日々は続きそうです。

▼日照時間も少しずつではありますが、長くなりつつありますが、外は益々冷え込みを厳しくしております。皆さん体調を崩されていないでしょうか。疲れを残さぬよう休息を取り、体調管理には十分ご留意いただきたいと思えます。

▼まだまだ冬真っ盛りといった状況です。路面状況も悪路が続きますので、車を運転される方は路面状況に応じた運転を心がけ、事故が起これぬよう安全運転を心がけていただければと思います。

身近な樹木に触れ、名前を知り
自然ともっと仲良くなろう



イヌエンジユ(犬槐)

山地の林緑や川岸、湿地の周辺に生える落葉樹で高さ15m、太さ30cmになります。

エンジユは中国原産のマメ科の植物ですが、イヌエンジユは日本固有の植物です。分布は、北海道、本州(関東、中部地方以北)です。

イヌエンジユのエンジユは古名「エニス」が転じてエンジユになったといわれています。

植物につけられている「イヌ…」は「品がない」とか「役に立たない」という意味で使われている場合が多く、エンジユのように鮮やかな緑色をしていない。また、花もエンジユより小さく、どうみてもエンジユより器量がおちることからイヌエンジユと呼ばれた可能性があります。

材は辺林が黄色、心材が暗褐色でその対比が美しいことと、木目が美しいことから床柱として使われています。

・エンジユ「延寿」と当てるのは、難産の時にこの木の枝を握らせると安産すると言い伝えられ、縁起木とされています。

ニューフロンティアファームの樹木図鑑より転載・抜粋